

向日市ゼロカーボンシティ宣言

私たちのまち、向日市は有史以前から人々が住み、なかでも784年には日本古代の都である「長岡宮」が置かれ、政治、文化の中心として栄えてきた歴史由緒あるまちです。市内には向日神社や古墳などの歴史的遺産が多数存在するほか、向日丘陵の竹林をはじめとする豊かな自然と良好な都市環境が調和したまちとして発展してまいりました。

しかしながら、近年、地球温暖化による気候変動は、世界的に深刻な自然災害をもたらしており、国内においても、猛暑や集中豪雨、大型台風など、今までに経験したことがない異常気象が頻発し、私たちの生命や暮らしを脅かす状況にあります。

将来にわたって、この恵み豊かな自然や文化、そして都市環境を次世代に引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが気象非常事態に強い危機感を持ち、脱炭素への取組を強化していく必要があります。

本日、向日市は市制施行50周年を迎えます。これから50年後、100年後も将来にわたって向日市が持続可能なまちとして発展していくためにも、気候非常事態を宣言するとともに、市民・事業者・行政の「オール向日市」で2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ(ゼロカーボン)を目指すことをここに宣言します。

令和4年10月1日 向日市長

安田 音